

やっぱり「身を粉にして働く」しかない



事務長
亀井 一成

徳島県上勝町（標高500～700メートル）にある「檜原の棚田」収穫前の風景です。町のホームページの解説によると、1815年の地域の絵図には、現在と変わらないかたちですでに棚田や道、家が描かれているそうです。一世代を30年とすれば七世代にわたって耕作をつづけた証であり、200年の勤勉と努力の堆積を目の前にすると、先人の仕業に圧倒されます。

ひるがえって、病院というところは一般に、装置産業プラス労働集約型で個別対応の仕事を行っていて、医療サービスの供給量と対価は国が財政事情によって決めるという特異な環境の下にあります。また「他の産業と比較すると、人的資源の投入の割には生産性が低い」という特徴があります。このことに日頃から悩ませている頭に棚田を見たあとに閃いたのは、やはり勤勉と工夫を重ねながら「身を粉にして働くしかない」という結論でした。

幸い歳のせいで起床が早くなってきているので「早起きは三文の得」をモットーに早寝早起きを励行し、可能ならばずっと仕事を続けていきたいと思っています。



で自由にお持ち帰りください

亀井病院の目指すもの… 前立腺肥大症に対する新たな治療



診療部泌尿器科
なかつじ ひろよし
副部長 中達 弘能

当院では前立腺肥大症に対して、平成26年7月にGreenLightレーザーを用いた光選択的前立腺レーザー蒸散（Photoselective Vaporization of the Prostate：PVP）手術を導入しました。

PVP手術は、世界中で多くの治療実績があり安全性と有効性が確立された経尿道的前立腺切除術（TUR-P）治療——多くの施設で行われている標準的治療法——と同等の有効性があります。またTUR-Pと比較して輸血のリスクや術後の勃起障害も非常に少なく、心血管や脳血管疾患で抗凝固剤を使用されている場合でも行うことが可能です。

GreenLightレーザーとは、532nmの波長で赤い組織に反応し、水には反応しない緑色の高出力レーザーです。前立腺組織は血流が豊富なため、照射された組織は熱エネルギーに変換され、組織温度が急上昇して蛋白質が変性し、凝固層を作成しながら蒸散す

るため出血がほとんどありません。そのためPVP手術の利点には、次のようなものが挙げられます。

1. 手術後早期に尿の流れが改善される
2. 比較的早期に通常の生活に戻れる
3. 出血が少ない
4. 手術後の尿道カテーテルの留置が短期間（多くの場合24時間以内）
5. 入院期間が短期間（多くの場合3泊4日）



PVP手術を導入するにあたり、まず院内でシミュレーターを用いたトレーニングを重ね、その後、医師2名と看護師1名でPVP手術の第一人者がおられる福岡の原三信病院で手術研修を受けてきました。原三信病院の副院長であり泌尿器科主任部長である山口秋人先生から、レーザーを照射する距離感が大事なことや止血の方法などについて、ていねいにご教示いただきました。

さて、当院1例目のPVP手術は山口秋人先生をお招きして、技術指導していただきながら予定通り終了することができました。術後

の患者さんは従来の手術（TUR-P）後に比べて、痛みが明らかに少なく、血尿が軽度でした。手術の翌朝には尿道バルーンカテーテルを抜去し、その翌日抗凝固剤を再開、翌々日には退院されました。カテーテル抜去直後からの排尿状態も患者さんが満足するものでした。つい先日3例目を施行しましたが、出血なく、手術翌朝にバルーンカテーテルを抜去しました。夜間頻尿で困られていた患者さんがその日の夜「5時間も眠れたのは久しぶりだ」と大変満足されていました。

これまで合併症や高齢のために従来の手術が困難であった方でも、安心してPVP手術を受けていただけると感じています。例えば長期臥床で排尿状態が悪く、長期にわたってカテーテルが留置されておられる方もPVP手術なら出血のリスクが少なく低侵襲なため、体の負担が少なく手術が可能で、カテーテルなしの状態にできる可能性があると思われました。

わたしたちは患者さんの手術時の体の負担を軽減し、排尿状態が改善するよう研修の経験を活かして症例を重ね、前立腺肥大症でお困りの患者さんのQOL向上に貢献してまいります。



当院の教育施設認定

- 日本泌尿器科学会 泌尿器科専門医基幹教育施設
- 日本透析医学会 専門医制度認定施設
- 日本緩和医療学会 認定研修施設
- 協力型臨床研修病院

Topics ❀ 第14回院内発表会・救急医療功労者厚生労働大臣賞

当院では平成20年8月より年2回、発表のきっかけやプレゼンテーション能力の向上、新人職員教育を目的として院内発表会を開催しています。

8月21日には第14回の院内発表会を開催しました。

今回も、日頃の業務から見つかったテーマについてそれぞれが発表し、後日、5名の演者が表彰されました。



第14回院内発表会

救急医療功労者 厚生労働大臣表彰

平成26年度 救急医療功労者厚生労働大臣表彰の表彰式が9月9日、霞が関の中央合同庁舎講堂であり、救急医療の向上発展に寄与した功績で神山有史院長が表彰されました。院長は徳島赤十字病院において救急医療に従事するとともに、救急部長就任後は県内外からの受診要請に対して診療拒否をしない方針を確立しました。また、徳島県医師会救急災害委員長、徳島県メディカルコントロール協議会会長として県下の救急診療ならびに救急受入れ体制の整備に尽力しました。



【院長のコメント】

「大変光栄なことで身の引き締まる思い。これからも徳島県の救急医療に貢献できるよう全力で頑張ってまいります。」

新入職員の紹介 ①氏名 ②職種 ③出身地 ④趣味・特技 ⑤抱負をひと言



- ①中口 尚子
(なかぐち しょうこ)
- ②調理師
- ③兵庫県
- ④映画鑑賞
- ⑤患者さんに喜んでいただける食事が作れるように頑張ります。

- ①澤井 佳代子
(さわい かよこ)
- ②看護師
- ③徳島県
- ④読書(現代詩・児童文学)
洋楽ライブに行くこと
- ⑤自分らしく、そして患者さんのその人らしくを大切に看護を考えていきます。

- ①元木 美喜
(もとき みき)
- ②看護助手
- ③徳島県
- ④バドミントン
コンサートに行くこと
- ⑤まだまだ未熟ですが、これからも努力して一歩ずつ前進していきます。

わたしたちと一緒に働きませんか？ 亀井病院は看護師さんを募集しています

外来診療のご案内

平成 26 年 10 月現在

	月	火	水	木	金	土
腎・泌尿器科						
9:00 ~ 12:00	●	●	●	●	●	●
14:00 ~ 16:30	●				●	
総合診療	(第 2・4 土曜日は休診)					
9:00 ~ 12:00	●	●	●		●	○
緩和医療						
9:00 ~ 12:00		●		●		
麻酔科						
9:00 ~ 12:00	●	●		●	●	
腎臓内科						
9:00 ~ 12:00	●		●	●		
14:00 ~ 16:30	●		●	●		
循環器内科	(第 1・3 木曜日のみ)					
14:30 ~ 16:30				○		
整形外科	(第 2・4 土曜日のみ)					
9:00 ~ 12:00						○
透析						
8:00 ~	●	●	●	●	●	●
12:00 ~	●	●	●	●	●	●
17:00 ~	●		●		●	

- ※緊急の検査・手術や学会出張等で変更になる場合があります。
- ※いずれの外来も予約制で行っています。受診の際は、事前の電話予約と確認をおねがいします。
- ※毎月(月1回)の保険証の提示にご協力ください。



- 国道 438 号線沿い 文化の森総合公園の西側となり
 - 駐車場 125 台
 - 徳島バス 佐那河内線、徳島市バス 一宮線
- 【亀井病院前】下車。1日55便、上下線とも病院玄関前に停車します。(徳島駅からは約15分で到着します)。詳しくは総合受付までお問い合わせください。



〒770-8070 徳島市八万町寺山 231
 TEL.088-668-1177 FAX.088-668-1122
 ホームページ <http://www.kameihospital.com/>

※地域医療連携室からのお知らせ※

徳島市がん検診について

- 総合診療外来にて大腸がん検診・前立腺がん検診・もの忘れ検診・肝炎ウイルス検診を受け付けています。実施期間や検診料金の詳細情報は、徳島市から通知が届き次第、院内で案内してまいります。受付にてお問い合わせください。
- 泌尿器科外来では前立腺がん精密検査も受け付けています。一次検診(前立腺がん検診)の結果で「要精密検査」になった方が対象です。精密検査依頼書と健康保険証とをご持参ください。
- いずれも予約制です。あらかじめ電話でご相談ください。

※表紙の写真※

- 徳島県上勝町の「榎原の棚田」です。
- 平成11年に「日本の棚田100選」に認定され、平成22年には国の重要文化的景観に認定されています。機会があれば訪れてはいかがでしょうか。

※病院の理念※

よりよい医療を提供し
 社会に貢献いたします

※4つの基本方針※

1. 患者さんの話に耳を傾ける医療
2. 職員全員が医療人としての技量を発揮するチーム医療
3. 患者さんの健康回復・社会復帰を目指す医療
4. 他の医療機関と連携する医療

職員全員で患者さんが
 健康回復に取り組むことを
 医療的にそして精神的に支援します

※編集後記※

全国各地で自然災害が発生し、多くの人たちが今まさに困難に立ち向かい、助け合い、懸命に生きています。今するべき事、できる事は何でしょうか？もし7日間ライフラインが止まったら…私は家族と一緒に自宅の防災グッズ、避難場所を確認してみました。あ！災害時の連絡、安否確認方法はどようしましょう？
 みなさんはいかがですか？ (K.O.)